

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市広瀬図書館	
2	指定管理者	丸善雄松堂 株式会社	
3	指定期間	平成28年4月1日 ～ 令和3年3月31日	
4	施設の利用状況	《利用者数》 平成30年度：123,852人団体〔個人：123,314人、団体・文庫：538団体〕（前年度比111.4%） 平成29年度：111,176人団体〔個人：110,608人、団体・文庫：568団体〕 平成28年度：108,844人団体〔個人：108,253人、団体・文庫：591団体〕	
		《事業》 仙台市広瀬図書館の運営管理	
5	収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 53,700千円 (53,700千円) ・ その他市が負担した費用 8,822千円 (8,912千円) 《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 24千円 (14千円)	
		( )は前年度決算額	
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート 実施期間：平成30年12月9日（日）～12月22日（土） 利用者懇談会 開催日：平成31年2月6日（水）	

## 二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野		所見	評価
I	総則	図書館の設置目的を踏まえて策定された、施設運営上の基本方針に基づき管理運営されている。全館共通の業務や行事も適切に行われている。サービスの質の向上や利用促進のための取り組みもなされている。	24/24
II	施設の運営管理体制	職員の勤務実績や配置状況、また、施設の開館状況は仕様書のとおり適切である。指定管理料も適正に執行されている。個人情報の取り扱いや情報システムのセキュリティ対策についても徹底している。危機管理について研修を実施し、災害発生時の訓練も関係機関と合同で適切に実施されている。事故や苦情等の処理報告書を榴岡図書館と共有し、ヒヤリ・ハット集の充実を図っている。	30/30
III	施設・設備の維持管理	建物、設備及び備品は適切に管理されている。環境へ配慮した取り組みもなされている。	17/17
IV	サービスの質の向上	利用者特性に配慮した分かりやすい掲示物・広報物等の作成や丁寧な接遇によりサービスの向上に努めている。必要な研修の機会も設けられており、スタッフミーティングで研修参加者による報告が行われている。催事案内を近隣の商業施設や児童館、保育所等に持参し、潜在的な利用者への働きかけも行っている。	27/27
V	施設固有の基準	読書離れが著しいヤングアダルト世代に向けた読書活動推進の取り組みとして、選書アドバイザーとして学生を募り、ともに選書、展示、広報誌づくりを行うなど、積極的な取り組みを継続的に行っている。 書架整理や選書支援については、利用状況や蔵書構成を把握しながら蔵書管理に取り組んでいる。	17/16

### 三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み	評価すべき理由
加点評価	—

### 四 評価総括

《指定管理者（丸善雄松堂 株式会社）による自己評価》
<p>平成30年度の図書館運営は、年度当初に策定した基本方針と図書館振興計画の施策に基づき、事業計画を着実に実施してきた。</p> <p>1. 基本業務は、図書館の基礎的機能を充実させるとした基本方針に基づき、登録受付カードの整備など窓口対応の効率化に取り組んだ。こうした体制整備や事前準備により、貸出冊数上限の変更や9時30分開館の試行に瑕疵なく対応することができた。また、隣接する宮城総合支所への絵本の提供など、新しい取組みも開始することができた。</p> <p>2. 自主事業は、地域施設やボランティア団体と積極的に連携し、年間事業参加者数は延べ8,111人に上った。本と関連付けた音楽イベントのほか、地元企業や仙台高等専門学校との連携事業に、それぞれ「伝統工芸」・「プログラミング」をテーマとして盛り込むなど、特色ある事業の実施に努めた。</p> <p>3. 利用実績は、システム更新に伴う統計の仕様変更により利用者数と貸出冊数の年間比較は行えないものの、貸出冊数上限の変更により11月以降の貸出冊数が大幅に増加し、統計比較が可能な1月～3月の合計では前年比9,000冊超の増加となった。また、新規登録数が前年度比104.9%と増加したことは、自主事業や学校との連携を通じた図書館PRや利用促進が奏功したものと考えられる。</p> <p>4. 職員に対する教育研修は、指定管理者研修、仙台市図書館主催研修、外部研修を併用して実施した。研修報告書の作成と全体会議での報告を通じた研修内容の共有についても継続して実施した。</p> <p>5. 運営の評価は、自己評価や市民図書館による定例監査の他、第三者評価として、「利用者アンケート」を実施した。また、全市的な取り組みの一環として、「利用者懇談会」も継続して開催した。</p> <p>6. 施設管理は、「仙台市公共施設点検要綱」に基づく定期点検を適切に実施したほか、入居施設である広瀬文化センターとの緊密な連絡により効率的に実施することができた。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>平成30年度は、新しい試みとして宮城総合支所内の絵本棚への絵本提供と図書館のお知らせの配布を行い、乳幼児とその親への読書推進と図書館PRに取組み、図書館の潜在的な利用者の掘り起こしに努めた。</p> <p>読書離れが顕著な中高生(ヤングアダルト世代)に対する読書活動支援を行うため、選書アドバイザーを募集し、中高生による自薦・他薦の読みたい本の選書活動やブックリストづくりなどの活動支援を行った。また、YA資料のコーナーの拡充や広瀬図書館スタッフが自薦の本を紹介する「MY本棚」を定期的に行い、利用促進を図っている。</p> <p>関係機関や地域との連携事業、地元企業と連携した講演会等の自主事業もより一層の充実を図り、多くの参加を得ている。広瀬文化センター・広瀬市民センターとの共催事業である「音楽で奏でる本の世界」コンサート及び朗読ワークショップの開催では新たな利用者の獲得にも努めた。</p> <p>今後もより一層、民間のノウハウを活かした図書館利用促進にかかる事業実施による利用拡大に期待する。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：教育局市民図書館